

高等研究院研究者育成特別プログラムが「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラムに採択される（2006. 05. 23）

平成18年度科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラムに、高等研究院の提案課題「名大高等研究院研究者育成特別プログラム」が採択されました。「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラムには、全国国公立大学、国立試験研究機関、独立行政法人併せて43件の応募がありました。

○ 本プログラムの目的

若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、世界的研究拠点を目指す研究機関において、テニユア・トラック制に基づき、若手研究者に競争的環境の中で自立性と活躍の機会を与える仕組みの導入を図るものです。

実施期間 5年

公募範囲 自然科学全般

○ 選定された本院の提案課題

高等研究院研究者育成特別プログラムは、自然科学系全分野にわたる若手研究者を対象とし、国際公募・選考を経て採択される全員が卓越した研究成果をあげ、テニユアを得ることを達成目標として掲げています。

本プログラムで育成した若手研究者が、学内の各部局に異動し、力を発揮して成果が得られれば、本学にテニユア・トラック制度による高度研究の雰囲気浸透していくと期待されるだけでなく、高度な自立研究能力と研究者倫理を備えた研究者がひろがることで、全国の人材システムの改善にも貢献できると考えられます。

なお、プログラム審査の経緯・採択課題の概要等については文部科学省のホームページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chousei/index.htm）に公開されていますので、ご参照ください。

本件についてご質問等がある場合は、高等研究院事務室までお問合せ頂きますよう何卒よろしくお願い申し上げます。